

大好評！

## 見える・つながる・つなげる

早期発見

早期支援

連携

## ソーシャルワーカーのためのアルコール依存症回復支援基礎講座

アルコール依存症は、慢性で進行性の病です。放置すると、健康問題、貧困、家庭不和、自死、虐待、ドメスティックバイオレンス（DV）、介護、犯罪、飲酒運転などの社会的問題が深刻化する可能性が高くなります。しかし、アルコール依存症は、「見ようとしないと見えない」問題であることから治療や支援に結びつきにくく、悲惨な状況に陥りようやく病氣と知ることもしばしばありません。

2014年に施行されたアルコール健康障害対策基本法は、「自業自得」のスティグマを張られた飲酒問題を、国、地方自治体、酒類販売者、医療従事者、国民等が責任を持って取り組む社会の問題として位置づけました。法律の目的を達成するために、アルコール依存症の渦中にいる人々にアウトリーチする専門職として、今、ソーシャルワーカーへの期待が高まっています。アルコール関連問題を支援するソーシャルワーク実践方法は、あらゆるソーシャルワークにも役立ちます。この研修では、アルコール依存症が見える眼鏡を持ち（早期発見）、苦しむ人々や家族につながり（早期支援）、回復の資源につなげる（連携）方法を身につけ、ソーシャルワーカーの支援力が向上することをお手伝いいたします。

開催地	日程（2日間）	会 場	申込受付開始
北海道	2017年 8月26日・27日	札幌会場 かでの2・7北海道立道民活動センター 1日目：940研修室 2日目：1040研修室 <a href="http://homepage.kaderu27.or.jp/intoro/access/index.html">http://homepage.kaderu27.or.jp/intoro/access/index.html</a>	2017年 6月26日～
関東	2017年 10月7日・8日	東京会場 東海大学高輪キャンパス4号館3階4304教室 <a href="http://www.u-tokai.ac.jp/info/traffic_map/shared/pdf/takanawa_campus.pdf">http://www.u-tokai.ac.jp/info/traffic_map/shared/pdf/takanawa_campus.pdf</a>	2017年 8月7日～
関西	2018年 2月3日・4日	大阪会場 新大阪丸ビル・別館 <a href="http://marubiru-bekkan.com/room.php">http://marubiru-bekkan.com/room.php</a>	2017年 12月3日～
九州	2018年 3月10日・11日	福岡会場 リファレンス駅東ビル 2階Y-1 <a href="http://www.re-rental.com/ekihigashi/">http://www.re-rental.com/ekihigashi/</a>	2018年 1月10日～

受講料振込完了順に受付いたします。定員になり次第、〆切とさせていただきます。

主催：一般社団法人日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会

後援：日本ソーシャルワーカー連盟（特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会、公益社団法人日本社会福祉士会、公益社団法人日本精神保健福祉士協会、公益社団法人日本医療社会福祉協会）

\*本研修は、日本医療社会福祉協会の認定医療社会福祉士認定ポイント（15ポイント）の対象となります。

\*本研修は、認定社会福祉士研修認証（地域社会・多文化分野1単位）の申請中で、7月以降決定の予定です。

\*本研修は、公益財団法人日本社会福祉弘済会「平成29年度社会福祉助成事業」の助成を受け実施します。

# 研修プログラム (北海道・関東・関西・九州共通)

※講師は変更となることがありますので予めご了承ください

	時間	内容	講師
1 日 目	9:30 ～ 10:50	【講義】 全てのソーシャルワーカーに依存症支援力を：アルコール健康障害対策基本法とソーシャルワーク	稗田里香 (アルコール健康障害対策関係者会議委員、同法推進ネットワーク幹事、東海大学准教授)
	11:00 ～ 12:20	【講義】 アルコール依存症の正体を知る：医学的理解と治療	アルコール専門医 (精神科医師)
	13:20 ～ 14:40	【講義】 何故ソーシャルワークが必要か:アルコール関連問題とソーシャルワーク (早期介入の重要性)	佐原まち子 (一般社団法人 WITH 医療福祉実践研究所所長)
	14:50 ～ 15:30	【演習】 多様な福祉現場に見るアルコール関連問題：高齢者、家族、司法、一般医療機関	オムニバス演習 (各 10 分)
	15:40 ～ 16:20	【演習】 現場で見えるアルコール関連問題：支援者同士の分かち合い	全員
2 日 目	9:00 ～ 10:30	【講義】 回復を支える社会資源と連携 (ネットワーク)	岡崎直人 (日本 ASW 協会会長、アルコール健康障害対策基本法推進ネットワーク幹事)
	10:40 ～ 12:10	【講義】 回復のキーパーソンを支援する：家族の理解と相談支援	山本由紀 (遠藤嗜癪問題相談室室長)
	13:10 ～ 15:40	【演習：グループセッション】 回復者と出会う：「語り」で回復する依存症体験談と分かち合い	板倉康広 (ジャパンマック)
	15:50 ～ 16:20	まとめ、フィードバック、アンケート	

- ◆ 研修対象者：一般社団法人日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会、特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会、公益社団法人日本社会福祉士会 (および都道府県社会福祉士会)、公益社団法人日本精神保健福祉士協会、公益社団法人日本医療社会福祉協会のいずれかの会員であること
- ◆ 受講料：8000 円 (事前振込)
- ◆ お申込み方法：ASW 協会ホームページ URL (<http://www.j-asw.jp/>) からお申込みください。個人情報、本研修に関わる以外には使用しません。
- ◆ お申込み開始時期：地域ごとに、開催 2 か月前から、ホームページよりお申込み下さい。受講料振込完了順に受付致します。定員になり次第、〆切とさせていただきます。
- ◆ 定員：北海道 50 名/関東 65 名/関西、九州各 65 名 \* 定員は、研修会場の収容数によって異なっています。
- ◆ 受講料振込後のキャンセルと受講料の全額返金について：振込後のキャンセルは、研修開催日から遡った 10 日前までに、下記お問合せ先までご一報ください。この場合に限り、返金振込送料を差し引いた全額を返金いたします。  
(例) 北海道研修：8 月 16 日まで有効
- ◆ お問い合わせ先：日本 ASW 協会アルコール健康障害対策基本法啓発研修担当  
E-Mail : aruhoukensyuu@gmail.com  
電話：0463-90-2017 (東海大学稗田研究室・留守電あり) 03-3916-7878 (板倉・ジャパンマック事務局)